



アフガニスタンの女性に力を与える

ラツィア・ジャン氏は、タリバン政権が崩壊後の2001年に母国アフガニスタンを訪れ、2002年からカブール近郊の児童養護施設と協同で活動を始めました。「少女たちは学校に行ったことはありません。タリバン政権下では、女子教育が禁止されていたため、学校も壊されたのです。しかしそれが変わろうとしています」とアメリカ・マサチューセッツ州ダクスベリーロータリークラブ(RC)会員の彼女は言います。まず、女性の教育と経済力の必要性を感じた彼女は、成人女性のための教育の場としても使える学校を建てることを思いつきました。

4~18歳の約200人の少女を対象とした3年制の学校が開校される予定で、成人教育センターには、20~30人の女性(その多くが子どもを抱える夫を亡くした人たちです)が、商売を始めるノウハウを学びにくるだろうと期待を寄せています。

2回のアフガニスタンの訪問で、ジャン氏は、6~7の村から通える範囲で学校建設にふさわしい安全な土地を見つけました。学校建設には、15万ドル(1,620万円)以上が必要で、これを維持していくにはさらなる費用が必要となります。

ダクスベリーRCの17人の会員は、これまでに10万ドル以上を寄付してきました。「私のクラブはとても協力的です」と彼女は話します。

訂正 インターネット速報No.327の「1億7,000人以上の子どもを対象に」を「1億7,000万人以上の子どもたちを対象に」に訂正ください。

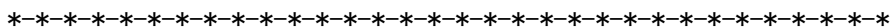
「ロータリージャパン」ホームページ情報

『友』4月号では雑誌月間にちなみ、世界のロータリー地域雑誌の紹介、『友』をテーマとした座談会を掲載しています。

「ロータリージャパン」の日本語ホームページ

<http://www.rotary.or.jp/contents.html>

では27日に掲載予定です。上記URLから入り、画面右側にある「ロータリーの友4月号」をご覧ください。



発行 ロータリーの友事務所

ホームページ <http://www.rotary.or.jp>

Eメール: ホームページについては/web@rotary-no-tomo.jp

編集については/hensyu@rotary-no-tomo.jp

